

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Viento		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 15日		～ 2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2025年 4月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	未就学児から高校生までの児童が共に過ごすことで、異年齢ならではの相互作用が生まれています。年上の児童が自然と年下の児童を気遣い、年下の児童は年上に憧れを抱きながら学びを深めていきます。こうした関係性の中で、児童同士が互いに刺激を与え合い、協力しながら成長する場が形成されています。下の児童との関わりを通じて、かつて自身が経験し切れなかつ	活動する時など年下の児童が手助けを必要とする場面ではヘルプの声掛けをしています。 児童同士で摩擦が起きた場合には、職員が間に入り個別または児童同士で話し合いをもち、自分自身、相手の気持ちを確かめ合って交流できる環境づくりを工夫しています。	多機能型だから出来る異年齢の特色を活かした交流をおこない、子ども達同士で学び・考える療育を目指します。
2	活動は児童の興味・関心を基軸に構成されており、週に一度は児童が自ら活動を提案する機会を設けています。自ら提案した活動に取り組むことで、児童は自律的にルールを守り、時間管理を意識しながら行動する力を身につけています。加えて、児童が創作した遊びを活動として実施することもあり、創造性と社会性の育成が見込まれます。	提案用紙を設置しています。設置用紙の中身では、希望する活動には何が必要なかもかけるよう工夫し子どもたちが考えて企画出来るように工夫しています。 長期休みなどでは、時間をかけてできる活動を子ども達が主体的に計画し参加できるよう、事前に話し合う機会を作りながら実施をしています。	今後も児童が自分らしさを実感し主体的に発信ができ、成長できるような活動を企画します。 そして、互いの興味・関心を互いに認め合い楽しむことが出来るような集団を目指します。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別面談などで職員と保護者とのコミュニケーションは取れているが、保護者会といった保護者同士のコミュニケーションの場が作れていないです。	面談やイベント案内の中で保護者との日程調整(時間帯)が厳しい現象があります。	開催月の早めの計画、案内の告知の工夫など改善できる点を話し合い実施いたします。祖の中で、保護者のニーズの確認もおこないイベントなどを活用し保護者が参加できる機会を増やしていきたいです。
2	活動の基本的プログラムはあるが、保護者に対し日々の活動内容の事前周知が不足しています。		カレンダーなど、活動内容を入れた便りを配布します。保護者あての案内や配布の工夫により、活動プログラムのみならず、ペアレントトレーニングなどの児童に向けた勉強会への興味や参加も増えるのではないかと考えています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Viento

公表日 2025年5月30日

利用児童数 2025/3/31 23名

回収数 21名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	4		2	今の事業所にお伺いした事がないので、環境整備の内容がわかっていません。	子ども達が過ごす場所をご覧いただく機会を増やし、イベントなど参加頂ける機会の周知を工夫します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		2	今の事業所にお伺いした事がないので、環境整備の内容がわかっていません。	継続して見守りのしやすい環境をつくることと、業務の効率化とスケジュール管理の強化を徹底します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	6		2	今の事業所にお伺いした事がないので、環境整備の内容がわかっていません。	現在介助が必要な利用児童はません。状況に応じて環境を調整する。より安全面への配慮と見守り体制を強化していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2		2	今の事業所にお伺いした事がないので、環境整備の内容がわかっていません。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	5				支援において丁寧な説明を心掛けてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	2				丁寧な説明を心掛けてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	1				療育場面や職員間での会議、地域の関係機関との連携し、本人、保護者、支援者のご意見も交えながら個々のニーズを支援につなげられるよう努めています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	2		1		本人、家族にとって提供すべき支援を解りやすく説明していくことが必要であると考えます。 その点について共通の理解がなされているかを心掛けてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	2				支援において丁寧な説明を心掛けてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	3				5領域を意識した活動、色々な活動プログラムを児童を通して立案しているが、今後は保護者への周知も合わせて行っていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	5	1	3		児童センターへお邪魔することはありますが、共に活動する企画も考えていきたいと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	2				今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17		1			今後も解りやすい丁寧な説明に努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3	2	1		行っているが不十分だと感じる点では、機会を増やすこと、周知に工夫することに努めてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	20	1				共通理解が得られるよう努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1				保護者メール、お電話などを活用しながら助言等の支援に努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	2				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	8	1	2	他の保護者との関りは求めない	小集団でのペアレントトレーニングを実施しております。保護者同士の交流、療育に関する情報共有の場に、ご家族が参加しやすいよう努めます。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2				お子様、保護者からの申し入れや相談が気軽にできるよう学校の様子、事業所での様子を保護者と情報共有時には不安を解消するために説明責任を果たし、更に職員全体で解決にあたりそれを記録に残します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1				送迎の際に得られる学校の情報や児童の様子についてお伝えしています。今後も情報伝達に心掛けてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	3		2		行事予定は利用予定表及びLINEを活用しています。HPについては定期的な更新、広報活動に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1				契約内容の説明時に保護者と十分に確認を行い、個人情報保護に留意いたします。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	4		1		各マニュアルを策定しております。職員間での情報共有を実施し、防犯や感染についての知識を活動に取り入れるなどしながら保護者への周知に努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	3				定期的な災害時避難訓練を実施しております。実施した際は保護者LINE等で報告を行っていますが、避難訓練の実施の周知については周知方法の工夫に努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	2		1		マニュアルや情報の貼り出しの工夫を行いながら、意識できるように努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Viento		公表日		2025年 5月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			定められた定員基準を守り、加えて物品の配置を工夫し安全に過ごせる環境づくりに努めます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		児童を安全に見守れる環境をつくるために業務の効率化とスケジュール管理の強化の徹底に努めているが、状況によっては児童へ手厚い支援がしくにい日もあります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		安全配置だけでなく、児童が安心できること、心の発達の視点から考えた空間づくりを目指している。	キッチンのエリア環境は整備の必要がある。物品の配置等を工夫し、児童が安全・快適に過ごせるよう十分なスペースの確保、環境調整を行います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		ソファや広々とした空間があり、活動に合わせた空間になっている。	感染予防も含め、清潔を保つことを心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		受験を控えた児童から勉強したいとの希望の際は、学習できる個室がある。	必要に応じた部屋や場所の使用を備えており、利用する児童、他の児童に使用にあたる説明を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		日々のミーティングで業務の見直しを行っており、定期的な業務改善ミーティング、申し送りノートを実施している。	フルタイム職員、パートタイムの職員にとっても共有できるように申し送りのノートや業務連絡を継続します。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			自己評価をもとに業務改善に向け話し合い、実施します。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		第三者による外部評価は現在行っておりませんが、法人の理事会との連携を予定しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		組織体制の構築のため法人内研修は実施しておりませんが、ミーティング時に専門職種の所見を確認して進めています。必要な研修においては業務調整をおこない参加してもらっています。	
適切なサポート	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			事業所ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月1回、来月の活動プログラムを立案し、掲示している。		

× 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		5領域を意識した活動、色々な活動プログラムを立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2		活動の流れや役割の話し合いが必要です。職員の勤務時間（パートタイム）によっては十分な打ち合わせができない日があり月1回の会議で行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		職員の勤務時間（パートタイム）によっては十分な打ち合わせができない日がありまうので、社内版LINEworksを活用申し送りを実施しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		関係機関と連携した支援を行う体制は整っているが、連携する機会をもつ事が難しい面もあります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		機会を設けられていません。法人内にてスーパーバイズを実施しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		参加できていないです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			保護者メールや面談などをおこなっています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			ペアトレの実施をしています。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		夏祭りなどで保護者同士の交流はあるが、保護者会としての機会は設けられません。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		地域住民の方を招待できていない。 今後、計画していきたいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	2		服用の必要な児童、てんかん発作などの持病のある児童は現在おりません。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		食べ物アレルギーなど医師の指示書が必要な児童は現在おりません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	現在、対象事例はありません。 重要事項説明書等に説明掲載しています。		